



■ 難聴と認知症

歳を重ねると、人は誰でも体に加齢変化が起こります。それは「聞こえ」についても同じで、加齢以外に原因が見当たらない難聴が加齢性（老人性）難聴です。近年では、難聴と認知症の関連性についても研究が進み、認知症の約1割が、難聴が原因であると推測されています。そのため、最近、難聴と認知症の関連がとて注目されています。

■ 聞こえにくいと感じたら、補聴器を

テレビを見ていて、家族や友人たちと話をしている、お店のレジで、「聞こえにくい」と感じた場合は、補聴器の使用を考えてみてはいかがでしょうか。

日本人は欧米人に比べて補聴器の使用が少なく、補聴器が必要な人の20%しか使用していないというデータがあります。一方、欧米人は80%の人が使用しています。我々日本人は、もっと積極的に補聴器を使うべきだと思います。

■ 補聴器は必ず医師の指導のもとで

補聴器は、ご自身にあった機種を、ご自身に合うように調整する必要があります。メガネは購入時に調整して、かけた瞬間に見えるようになりませんが、補聴器はそんなに簡単ではありません。だいたい2、3か月の期間をかけ、使用しながら聞きやすいように調整していく必要があります。

「つけたのに聞こえない」「ピーピー音がしてうるさいだけ」「すぐに外れてしまっただけ」が心配という補聴器は、うまく調整されていないことが原因です。医師の指導のもと、認定補聴器技能者・認定補聴器専門店などによるきめ細かな調整をすることで、その人にぴったりの補聴器が完成するので。

補聴器をお考えの際は、専門的な知識、設備、技術を持った耳鼻咽喉科専門医【補聴器相談医・補聴器適合判定医】に相談しましょう。

21世紀を「健康の世紀」に…。その願いから「ミレニアム（新千年紀）」と名付けました。

ミレニアム millennium

2024 December

第91号

目次

特集

片目だけで見るとわかる目の病
「加齢黄斑変性」を見逃すな! 1

スポーツコーナー

ケガの無い運動を一生続けていくために
～動的ストレッチと静的ストレッチ～ 5

からだのソラシド♪ マナボっと

こどももおとなも、赤ちゃんも!
みんなを悩ます「口内炎」 6

こども相談室

冬は特に注意! やけどについて 9

千葉県インフォメーション

・千葉県小児・AYA 世代のがん患者等の妊孕性
温存療法研究促進事業
・「ちばがんナビ」をご存じですか? 10

元気からだ! Q&A

粘り気がある鼻水が鼻から喉に落ちる不快、
改善できるの?
～後鼻漏について～ 12

旬食野菜クッキング

にんじんとだいこんの簡単なます 13

ミレニアムからのお知らせ

定期購読・バックナンバー 14

医師会インフォメーション

まちがい探し 17

* 本誌に掲載された情報は2024年11月末時点のものです。
* 転載・複製をご希望の方は、(公社)千葉県医師会広報係まで
ご一報ください。